

平成 22 年度

三重大学 生物資源学部

生物圏生命科学科 海洋生物科学講座 卒業論文発表プログラム

日時：2011 年 2 月 14 日（月）

場所：211 講義室

9:00- 9:05 開会の辞（原田先生）

藻類学（タイムキーパー：生物海洋学）（審査員：前川、倉島、石川）

9:05- 9:17 藤原 麻耶

ヒジキ付着器と葉状部の発生および生長におよぼす水温の影響

9:17- 9:29 鷺野 亜佑子

紅藻 2 種の干出時における光合成活性

9:29- 9:41 下條 由香里

褐藻カジメ配偶体の温度特性

海洋個体群動態学（タイムキーパー：藻類学）（原田、勝川、谷村）

9:45- 9:57 向井 良行

ため池におけるカワバタモロコ成魚の食性

9:57- 10:09 西田 卓矢

河床の粒度組成の違いがアマゴの卵の生存に与える影響

10:09- 10:21 村田 涼

新潟県ホッコクアカエビ漁業の網目拡大効果の検証

10:21- 10:33 園木 詩織

伊勢湾における計量魚群探知機を用いた資源量推定

海洋生態学（タイムキーパー：海洋個体群動態学）（谷村、木村、原田）

10:40- 10:52 今井 達郎

田中川干潟におけるウミニナ科・フトヘナタリ科腹足類の分布特性

11:04- 11:16 川井田 俊

田中川干潟におけるカニ類相と分布特性

10:52- 11:04 谷口 千恵

琵琶湖における外来二枚貝タイワンシジミの分布状況

生物海洋学（タイムキーパー：海洋生態学）（石川、田口、前川）

11:20- 11:32 木村 雄太

紀伊半島沿岸における底生性有毒渦鞭毛藻 *Ostreopsis* 属の分布

水産実験所（タイムキーパー：海洋微生物学）（木村、谷村、原田）

11:40- 11:52 日比野 友亮

Muraenichthys aoki Jordan and Snyder, 1901（標準和名：ミサキウナギ）は
Muraenichthys borealis Machida and Shiogaki, 1990（キタノウミヘビ）の古参シノニム

昼休憩

海洋微生物学（タイムキーパー：生体高分子化学）（田中、加納、幹）

13:00- 13:12 宮脇 弘光

メガイアワビ *Haliotis gigantea* 消化管内細菌叢の季節変動

13:12- 13:24 武藤 祐貴

アワビ消化管内共生細菌の発酵代謝

13:24- 13:36 石野 亮太

培養法および非培養法を用いたシオミズツボウムシ細菌相の構築

13:36- 13:48 若松 明

バイオディーゼル燃料洗浄廃水における微生物学的処理および菌叢解析

海洋生物化学（タイムキーパー：海洋微生物学）（幹、柿沼、加納）

13:55- 14:07 丹羽 沙織

大型藻類由来のメラニン生合成阻害物質の探索

14:07- 14:19 三谷 花代

アコヤガイ貝殻真珠層の黄色色素に関する研究

14:19- 14:31 周 せん

三重県産大型藻類由来のエラスチン分解抑制活性成分について

生体高分子化学（タイムキーパー：海洋生物化学）（加納、船原、幹）

14:35- 14:47 海老原 俊介

アフリカ産ハイギョ *Protopterus annectens* の筋原線維タンパク質の尿素抵抗性に関する研究

14:47- 14:59 加藤 こなみ

二枚貝閉殻力と貝殻サイズ，閉殻筋の重量および面積の相関関係

14:59- 15:11 太田 彩花

二枚貝閉殻力と筋原線維 ATPase 活性の相関関係

15:11- 15:23 水谷 早英里

二枚貝閉殻力と筋タンパク質含量の相関関係

15:25- 15:30

講評・閉会の辞（加納先生）